

～ こだいらの **未来** のための計画～

(仮称)小平市第四次長期総合計画 策定状況 ニュースレター

第11号

(令和元年11月)

※不定期発行

小平市では現在、新たな「長期総合計画」(※)の策定に取り組んでいます。策定状況や取組について、広く市民の皆様にお知らせするため、不定期でニュースレターを発行しています。

(※)「長期総合計画」については、裏面をご参照ください。



「ひとづくり」、「くらしづくり」「まちづくり」の大きく3つの視点について、次期長期総合計画で取り組む方向性や課題を共有しました。

令和元年10月24日木曜日の午後、小平市中
央公民館で、第3回の小平市長期総合計画基
本構想審議会が開催されました。
これまでの市民参加で得た市民の皆様のご
意見を参考に、まちづくりの基本的な理念や
計画期間でめざす将来像(ビジョン)とその実
現に向けた取組の方向性について、3つのグ
ループに分かれて議論を深めました。

第3回小平市長期総合計画 基本構想審議会が開催されました

委員の意見 (抜粋)



「ひとづくり」に関して	「くらしづくり」に関して	「まちづくり」に関して
<ul style="list-style-type: none"> 市内には大学が多数あり、地域との繋がりも強くなっている。人生100年時代を見据え、生涯学び続けるまちでありたい。 市内には知的な資源が多数ある。それらを活用したい。 全体で子どもの育ちを支援する、子育てする親を支援する。 学生や若い方々の知恵と行動力を活かす仕組みを。 一つの場所に集まることがひとづくりにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの個性を尊重する社会をめざす。 家族や家庭から一步踏み出した繋がりが必要。災害時等にも助けあうということにつながる。 市内にある7つの駅は地域の拠点ともなりうる。地域のお店の良さと合わせて交流を生み出していきたい。 市民活動を行う団体が多い。人が繋がって、支えあってという文化が根付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 農地の減少は相続等避けられない部分もあるが、地産地消や災害時避難場所等の視点からも、出来る限り残したい。 市内の駅が持つ要素には違いがあり、うまく多極化、多様化している。それぞれの特色を活かしたまちづくりを。 再開発事業などの都市計画事業を着実に進めてほしい。 公共交通、自転車、徒歩など、様々なレベルでの移動の豊かさが感じられるとよい。

小平市長期総合計画基本構想審議会の会議録(要旨)や会議資料は、小平市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。



第4回長期総合計画基本構想審議会は、以下のとおり開催します！

日時 令和2年1月9日(木) 午前10時～

場所 小平市役所5階 504会議室

傍聴 先着10名程度

※会議開催20分前から受付



「あっ、小平ってこんなところ!」（仮称）小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集より

（仮称）小平市第四次長期総合計画の策定に向け、市政や市を取り巻く状況を把握し、市民の皆様と共有することを目的として作成した『（仮称）小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集～あっ、小平ってこんなところ!～』の中から、小平市をより知っていただく内容をお届けします。

右図は、小平市と周辺自治体との位置関係を表しています。

小平市は、東京の都心から西側 26 キロメートル付近に位置し、面積は 20.51 平方キロメートルです。市域全体が武蔵野台地上に位置するため、標高差の少ない平坦な地形であるものの、地下水位が低く、本格的な集落や農地の開発は江戸時代の玉川上水の開通（承応 3（1654）年）をきっかけとして始まりました。玉川上水から用水を引き、農業や生活のために利用することで、江戸の近郊農村として開発が進み、現在も青梅街道などの主要な街道を中心に、整然と区画された短冊型の地割の様子が残っています。

図表 1-1-1 小平市と周辺自治体との位置関係



出典：小平市産業振興基本計画

『（仮称）小平市第四次長期総合計画策定に向けた基礎資料集～あっ、小平ってこんなところ!～』は、小平市の様々なデータを 1 冊にまとめて掲載しています。小平市ホームページの他、小平市役所 1 階市政資料コーナーや小平市内の各図書館でご覧になれます。また、販売もしています。



（※）長期総合計画って何？

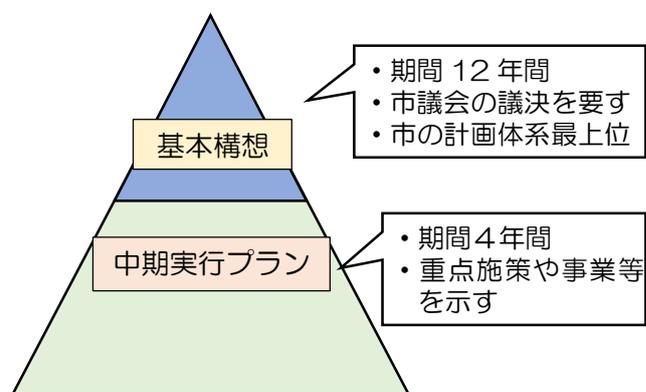
市の将来像や進むべき方向性を示す計画です。

長期総合計画は、市議会の議決を必要とする「基本構想」を含んでおり、この「基本構想」は市の計画体系の最上位に位置づけられます。

現在策定を進めている「（仮称）小平市第四次長期総合計画」は、右の図のとおり「基本構想」と「（仮称）中期実行プラン」の 2 層構造を想定しています（両方を合わせて「長期総合計画」といいます）。

「基本構想」の計画期間は 12 年を想定しており、「（仮称）中期実行プラン」の計画期間は、市長任期に合わせた 4 年を想定しています。

「（仮称）小平市第四次長期総合計画」模式図



分野ごとの計画（都市計画マスタープラン、地域保健福祉計画等）は、最上位である「基本構想」に基づいて策定しているんですね。

【問合せ先】
小平市企画政策部政策課
総合計画担当
電話：042-346-9503
FAX：042-346-9513